



“「どこに住んでるんですか？」と聞かれたら
「ほぼ吉祥寺です」と答えます”

立川志らくさん

落語家

住まいは練馬区ですが、吉祥寺までは車ですぐなので、人から「どこに住んでるんですか？」と聞かれたら、「ほぼ吉祥寺です」と答えています。完全に生活圈だし、間違っていないでしょ(笑)。

演劇にのめり込んでいた頃は、吉祥寺シアターをよく稽古場として使っていました。あと、武蔵野公会堂は落語の公演でよく利用しています。あのくらいの席数が落

語をやるのにちょうどいいんですよ。今度、改修されるんですか？確かに楽屋やトイレはもう少し使いやすくなるとうれしいかな。

家族とよく行くのは東急百貨店。地下の食品売り場でちよつといい食材を買ったり、レストランフロアの「神田まつや」でそばを食べたり。子どもとよく行くのが西友吉祥寺店の上階にある室内遊園地。平日は人が少なく穴場です。

ヨドバシ吉祥寺の裏切りは今で



立川志らく
(たてかわ・しらく)

落語家。映画監督、映画評論家。1963年、東京都世田谷区生まれ。1985年、七代目立川談志に入門。1995年、真打に昇進。映画を題材にしたシネマ落語の分野を開拓する。主宰する劇団下町ダニーローズでは脚本・演出・出演を務める。2018年から5年間、「M-1グランプリ」の審査員を担当。現在、情報番組『ひるおび!』のコメントーターも務める。今年で芸歴40周年を迎える。

もちよつと混沌とした雰囲気でも落語家としては少し猥雑な部分も残っていた方がまちは面白いなと思う一方、子どもがいる身としてはもう少し安心して歩けるとうれしい。あと、吉祥寺駅南口を出てすぐの道をバスが行き来しているのも、子連れだと結構怖いんですよ。その辺りはもうちよつと改善されるといいですね。

今年は落語家になって40周年という節目の年。落語家として精進していくのはもちろんですが、昨年、ドラマ『Eye Love You』で二階堂ふみさんの父親役を演じてあげたい反響をいただいたこともあって、ドラマや映画にもより一層チャレンジしていきたいという夢もあるんです。アカデミー賞のレッドカーペットを歩いた落語家はいないから、可能性が1パーセントでもあるなら挑戦してみたいですね(笑)。